

財新

政経频道

## 天津港爆発事件で一審判決 瑞海董事長に猶予付き死刑

財新网政経

china.caixin.com 2016-11-09

18:36

来源: 財新网

被告人の于学偉瑞海公司董事長は、裁判にあたり主体的に瑞海公司による天津港での危険化学物質の違法経営について李志剛天津市交通運輸・港灣管理局副局長や馮剛港灣管理所所長を通じて請託し、李志剛と馮剛に財物およそ 15.75 万元を渡していたと供述した

【財新網】新華社 11 月 09 日情報によると、記者が天津市高級人民法院（宮本注：『法院』は「裁判所」）から、11 月 07 日～09 日にかけて、天津港『8.12』特大火災爆発事故に関する事案 27 件の第一審がそれぞれ天津市第二中級人民法院と 9 ヶ所の末端法院で公開裁判が開かれ、9 日には上述事案に関連した被告単位（『単位』とは政府機関などの「部門」をいう）及び直接の責任者 24 名と関連職務で犯罪を問われた被告 25 名に対して判決が言い渡された。

法院は、審理を経て、2015 年 08 月 12 日 22 時 52 分頃発生した天津市滨海新区天津港天津東疆保稅港区にあった瑞海国際物流有限公司（以下『瑞海公司』）の危険品倉庫で火災が発生、爆発事故に至り、死者 165 人、行方不明者 8 人、怪我による入院治療者 798 人、建築物 304 棟、商品用自動車 12428 台、7533 コンテナが損傷し、2015 年 12 月 10 日までの時点で事故による直接的経済損失は 68.66 億人民元に達したと明かにした。

法院の審理では、この爆発事故が、特別重大責任事故に属するものであり、瑞海公司の嚴重な違反は関連法律の規定により、事故を発生させた主体責任単位であると明らかにされた。当該公司は、安全生産の責任を無視し、天津市の都市総合計画と滨海新区の管理詳細規格を無視し、違法にも危険貨物の保管場所を建設し、違法経営や危険貨物の貯蔵規格にも反して、安全管理は極めて乱雑であり、安全に対する潜在的なリスクが長期に亘り存在していた。同時に、天津中浜海盛衛生安全評価觀測有限公司（以下『中浜安評公司』）が仲介及び技術サービス機構として詐欺を働き、違法に安全審査や評価検収を行い、虚偽の証明書類を提出することにより、瑞海公司が危険品の経営資格を取得できるようにし、且つ、その経営の中で、『8.12』特大火災爆発事故を起こし人員や財産の損失をもたらしたとしている。

法院の審理を経て、天津の交通、港灣、税関、安監、規格、海事などの単位の関連工作部門及び具体的な工作スタッフは、関連法律法規の実施をいい加減にし、違法に行政許可や項目審査を行い、日常の監督管理に重大な欠陥があった； 関連部門の責任者と工作スタッフは、職務に忠実ではなく、職権の乱用等汚職収賄の問題を招き、最終的に『8.12』事件を引き起こしたとされた。被告人の于学偉瑞海公司董事長は、裁判にあたり主体的に瑞海公司による天津港での危険化学物質の違法経営について李志剛天津市交通運輸・港灣管理局副局長や馮剛港灣管理所所長を通じて請託し、李志剛と馮剛に財物およそ 15.75 万元を渡していたと供述した。

各被告人の犯罪事実や性質、事情と作り出した社会リスクの結果及び共同犯罪における地位や役割をもとに、法院は法に基づき第一審の判決を出した。瑞海公司の于学偉董事長には、危険品の違法保管の罪、違法な事業経営の罪、危険品により事件を引き起こした罪、贈賄の罪他により執行猶予二年月の死刑並びに 70 万人民元の罰金判決； 同社副董事長の董社軒や總經理の只峰ら 5 人には、危険品の違法保管の罪、違法な事業経営の罪、危険品により事件を引き起こした罪によりそれぞれに無期懲役から懲役 15 年の判決； 瑞海公司のその他 7 名の直接責任者達にはそれぞれ、10 年から 3 年の懲役刑判決が言い渡された。中浜安評公司には虚偽の証明書類を提供した罪により、法に基づき 25 万元の罰金刑； 中浜安評公司董事長、總經理の趙伯揚ら 11 名の直接責任者にはそれぞれ 4 年から 1 年 6 ヶ月の懲役刑が言い渡された。天津市交通運輸委員会武岱（「岱」は「泰」のことです）主任ら 25 名の国家機関職員にはそれぞれ職務怠慢の罪或いは職権乱用の罪により 3 年から 7 年の懲役刑が言い渡され、うち、李志剛ら 8 人には同時に収賄の罪が併せて処罰されることとなった。

『8.12』爆発事故の一連の事案審判の中で、檢察側は、被告人の犯罪事実は明白で、様子も十分にあり、罪名が成立したと糾弾した。弁護人提出の調査事実、根拠のある弁論に対しては、法定はこれを受け入れもした。法定では、檢察側は、マルチメディアを利用して大量の証拠を提出、被告人及びその弁護人も十分に弁論を尽くした。審判の後、各被告は、罪を認めそれを後悔していると述べた。

..... 以下是中国語原文 .....

## 天津港爆炸系列案一审宣判 瑞海董事长获死缓

财新网政经 china.caixin.com 2016-11-09 18:36 来源：财新网

被告人瑞海公司董事长于学伟归案后主动供述其为瑞海公司违规办理港口危化品经营资质，多次向时任天津市交通运输和港口管理局副局长李志刚、港口管理处处长冯刚请托，送给李志刚、冯刚财物共计 15.75 万元

【财新网】据新华社 11 月 9 日消息，记者从天津市高级人民法院了解到，11 月 7 日至 9 日，天津港“8·12”特大火灾爆炸事故所涉 27 件刑事案件一审分别由天津市第二中级人民法院和 9 家基层法院公开开庭进行了审理，并于 9 日对上述案件涉及的被告单位及 24 名直接责任人员和 25 名相关职务犯罪被告人进行了公开宣判。

法院经审理查明，2015 年 8 月 12 日 22 时 52 分许，位于天津市滨海新区天津港的天津东疆保税港区瑞海国际物流有限公司（以下简称瑞海公司）危险品仓库发生火灾爆炸事故，造成 165 人遇难、8 人失踪，798 人受伤住院治疗，304 幢建筑物、12428 辆商品汽车、7533 个集装箱受损。截至 2015 年 12 月 10 日，事故造成直接经济损失人民币 68.66 亿元。

法院经审理查明，该起火灾爆炸事故属于特别重大责任事故。瑞海公司严重违反有关法律规定，是造成事故发生的主体责任单位。该公司无视安全生产主体责任，严重违反天津市城市总体规划和滨海新区控制性详细规划，违法建设危险货物堆场，违法经营、违规储存危险货物，安全管理极其混乱，安全隐患长期存在。同时，天津中滨海盛卫生安全评价监测有限公司（以下简称中滨安评公司）作为中介及技术服务机构弄虚作假、违法违规进行安全审查、评价和验收，提供虚假证明文件，使得瑞海公司取得危险品经营资质，并在继续经营过程中造成“8·12”特大火灾爆炸事故的重大人员、财产损失。

法院经审理查明，天津交通、港口、海关、安监、规划、海事等单位的相关工作部门及具体工作人员，未认真贯彻落实有关法律法规，违法违规进行行政许可和项目审查，日常监管严重缺失；相关部门负责人和工作人员存在玩忽职守、滥用职权等失职渎职和受贿问题，最终导致了“8·12”特大火灾爆炸事故重大人员及财产损失。被告人瑞海公司董事长于学伟归案后主动供述其为瑞海公司违规办理港口危化品经营资质，多次向时任天津市交通运输和港口管理局副局长李志刚、港口管理处处长冯刚请托，送给李志刚、冯刚财物共计 15.75 万元。

根据各被告人犯罪的事实、性质、情节和造成的社会危害后果以及在共同犯罪中的地位、作用，法院依法作出一审判决。瑞海公司董事长于学伟构成非法储存危险物质罪、非法经营罪、危险物品肇事罪、行贿罪，予以数罪并罚，依法判处死刑缓期二年执行，并处罚金人民币 70 万元；瑞海公司副董事长董社轩、总经理只峰等 5 人构成非法储存危险物质罪、非法经营罪、危险物品肇事罪，分别被判处无期徒刑到十五年有期徒刑不等的刑罚；瑞海公司其他 7 名直接责任人员分别被判处十年到三年有期徒刑不等的刑罚。中滨安评公司犯提供虚假证明文件罪，依法判处有期徒刑 25 万元；中滨安评公司董事长、总经理赵伯扬等 11 名直接责任人员分别被判处四年到一年六个月不等的有期徒刑。天津市交通运输委员会主任武岱等 25 名国家机关工作人员分别被以玩忽职守罪或滥用职权罪判处三年到七年不等的有期徒刑，其中李志刚等 8 人同时犯受贿罪，予以数罪并罚。

在“8·12”特大火灾爆炸事故系列案件审判中，公诉机关指控被告人的犯罪事实清楚，证据确实充分，罪名成立。对辩护人提出的经查属实、于法有据的辩护意见，法庭予以采纳。法庭上，检察机关运用多媒体出示了大量的证据，被告人及其辩护人充分发表了辩护意见。宣判后，各案被告人均表示认罪、悔罪。

人大代表、政协委员、媒体记者、执业律师和各界群众分别旁听了各案的庭审。（新华社记者 李靖 邓中豪 翟永冠）